

錦陵の苑 広報誌

花みずき

108号

2026年7月発行

編集・発行：
錦陵の苑広報委員会

TEL 0930-33-2940

FAX 0930-33-2947

彩る、初夏のひととき

今年も通所では菖蒲園へ菖蒲観賞に出かけました。
曇り空でしたが、暑すぎず、しっとりした空気の中で、
紫・白・黄色の菖蒲が美しく咲き誇っていました。



落ち着いた雰囲気の中で観賞を楽しみました



色とりどりの菖蒲が咲く園内



紫や白、黄色の菖蒲が美しく咲きました

梅雨明け後は、本格的な夏の暑さがやってきます。
どうぞ熱中症にお気をつけいただき、
皆様が健やかに毎日を過ごせますよう
願っております。

これからも、
季節の楽しみを大切にしながら
穏やかな毎日を
重ねていきましょう。

通所 & 花みずき1号館

7月の活動紹介

菖蒲観賞 & くまさん家のはちみつ

ドライブでは、菖蒲観賞へ出かけたり、
椿市にある「くまさん家のはちみつ」へ
ソフトクリームを食べに行ったりしました。
はちみつがとろ〜りとかかったソフトクリームは、
皆さまに大好評でした。
「甘くて美味しい」という声も聞かれ、
笑顔あふれるひとときとなりました。
季節の花や外の空気にもふれ、気分転換にも
つながりました。



苑内レクリエーション

苑内レクでは、風船バレーやすごろく、
トランプなどを通して、体や頭の体操を
行いました。
お互いに声を掛け合いながら参加され、
自然と会話も弾んでいました。
楽しみながら交流を深める時間となり、
笑顔が多く見られました。
それぞれの活動を通して、皆さまが
楽しめる時間を過ごされました。



花みずき1号館

伊良原ダムへの外出では、青空の下、車窓からの
景色やダム周辺の自然を楽しみました。
開放的な空気の中で、皆さまの表情もやわらぎ、
気分転換のひとときとなりました。
レクリエーションでは、利用者様とスタッフで
ポッチャを行い、投げる順番を工夫したり、
応援し合ったりしながら、笑顔いっぱいの
時間を過ごしました。
外出とレクリエーションの両方で、
和やかな雰囲気が広がっていました。



はじめに

本年は、各入所施設で定員割れが続いている為、体験利用等を行い利用者獲得に務めたり、「グループホーム花みずき」の移転も行い、効率化を勧めてきましたが、良い結果に繋がらず、残念ながら、3月末で「有料老人ホーム錦陵の苑」及び附属施設を閉鎖する結果となりました。

老朽化した設備の更新等も思うように進まず、緊急性の高い補修を中心に行いました。

また、外国人の人材に関しては、4月に4名入職し、10名の外国人が各部署に所属して、夜勤等の介護業務にあたり、貴重な人材となっています。日本で家庭を持った者もあり、様々なサポートも行っています。

物価高騰が続く厳しい状況が続きますが、利用者が安全・安心に生活ができるよう、これからも取り組んでいきたいと思っております。

以下、部門毎の報告をします。

令和7年度 障害者施設事業報告 入所部門

1. 経営の安定

(1) 入所者の確保

○相談支援員を中心に市町村の福祉サービス事業所や医療機関連携室との連絡、情報交換を行い、相談や問合せを受けショート等の受入れを行いました。

令和7年7月(1名)、11月(1名)、12月(1名)

令和8年1月(1名)、2月(1名) 計5名入院先にて御逝去されました。

令和8年3月末時(男性利用者27名、女性利用者16名。計43名)

(2) 職員の経営意識の向上

○直接的支援の他に間接的支援でも職員一人一人が細かい気配りを行いました。

2. 利用者主体の支援

(1) 個別支援計画に沿った個別処遇の実施

○利用者一人一人に応じた個別支援計画を作成し個別処遇の実施。

また、ADLの低下や退院後等、支援計画を見直し利用者のQOLに繋がっています。

(2) 利用者様の高齢化に伴う嚥下調整食の実施

○利用者様の食事形態を見直し、誤嚥予防に努めました。今後も継続して取り組みたいと思います。

(3) 快適で過ごしやすい居住環境の提供

・居室改装工事予定(壁及びクロスの張替)

○令和7年度未実施。

(4) 利用者様の高齢化、疾病の重症化により、病院受診の機会が以前より増えてきている為、病院との情報交換を密にとり疾病の予防に務める。早期発見・早期治療

○加齢に伴う嚥下状態の低下や肺炎や窒息等による長期入院等余儀なくされる為、日々観察を行い医療機関へ連絡を行い健康状態の把握に努めています。

(5) 快適な生活空間の提供 苦情解決に向け迅速な対応(生活委員会、虐待防止委員会との連携)

○快適な生活環境が提供出来るよう、生活委員会・苦情防止委員会及び虐待防止委員と連携を図り利用者の意見を尊重し、早期解決できるように行っている。

(6) 感染症対策強化

・手摺、車椅子、居室内外の清掃及び消毒の徹底

○まだまだ手薄ではあるが、手摺や居室の清掃及び消毒を実施した。

・〈感染対策委員会〉の定期研修会の実施及び職員研修会の実施

○研修を受けている衛生管理者が毎日の朝礼等で通達を行った。

今後も周知したことを、現場で実施。

・感染症対策関係機関との連絡調整、情報交換

○緊急時における保健所・施設・嘱託医・御家族への連絡等行える体制を構築。

3. その他

(1) 人材育成と定着

・職員のスキルアップ向上

社内研修及び積極的な研修会への参加

○介護福祉士等の資格習得を勧め、令和7年度も継続して推奨しています。

・外国人留学生：入職にあたり計画に応じた指導

○令和7年4月より外国人留学生4名が入職(本体2名・有料2名)

現在、日勤・早出・夜勤等の業務に従事し日々精進しています。

・職員同士で協力できる職場環境作り

○職員の体調変化等に気付き、内容などによっては衛生管理者へ繋いできました。今後も職員のストレス軽減に繋がっていきます。

・職員に身体的介護負担の軽減

○スライディングボード・走行リフト・天井リフト等をフル活用し、介護負担軽減に努めている。

(2) 職員の衛生管理

・職員全員の定期健康診断の実施。(1年1回、夜勤業務従事者のみ1年2回)

○令和7年度、1回目は令和7年7月。2回目は12月に実施。

有所見者については、医師の意見を基に検査を促し生活習慣の改善や健康保持の増進に努めるよう指導を行っている。

・5S活動及びKYT活動の強化

○特に担当者の存在はなく日々全員が意識を行うべき活動である為、無駄な物をなくすことにより危険回避できる職場作りへと見直しを図る。

・新型コロナウイルス、インフルエンザ感染予防対策

○職員会議の時間を利用して職場研修を行っている。感染発症時には、感染対策委員会を主に職員全員が連携を行い、感染拡大防止や隔離体制がスムーズに行えた。

感染防止対策用の物品補充等、担当者が責任を持って行っている。

・50歳以上の带状疱疹ワクチン接種の推進

○带状疱疹ワクチンの推進を行っているが現状では停滞している。

通所部門

(1) 四季に合わせた外出行事等及びレクリエーションを実施する

○送迎を利用したドライブ、レクでは音楽を使って体

操やカラオケを行い、創作活動なども取り入れて、楽しくレクリエーションを行いました。

(2) 安心して快適な雰囲気作りと清潔保持の為の入浴サービスの提供

○プライバシーの保護や利用者の状態観察を行い、安心・安全なサービスの提供に努めました。

(3) ご家族との意見交換を行い、個別ニーズに基づいた支援を行う

○利用者、家族、相談支援員他、各方面からの声を元に、職員間で周知、徹底を心掛けながら支援を行うことが出来ました。

支援施設(全体・入所・通所)行事報告

月	全 体	入所部門	通所部門
4		ドライブ、散歩	ドライブ、花見(桜)
5		ドライブ、ホテル観賞	ドライブ、ピクニック
6		ドライブ	ドライブ、菖蒲観賞
7	七夕飾り	ショッピング	食レク(かき氷) 納涼カラオケ大会
8	芸能ボランティア ソーメン流し	ドライブ、花火、野球観戦	創作活動(苑祭り用・作品づくり)
9		ドライブ、本屋、野球観戦 茶話会	ドライブ、彼岸花観賞
10	錦陵の苑祭り	ドライブ	ドライブ、コスモス観賞 ピクニック
11	航空祭	ドライブ、ショッピング	紅葉狩り
12	クリスマス会、餅つき		クリスマス会
1		ショッピング	初詣、新春カラオケ大会
2	観梅、節分	ショッピング	節分
3		ドライブ	ドライブ、花見(桜)

グループホーム花みずき1号館

(1) 毎月、外出行事、屋内行事、飾り付けを企画し、屋内外で季節を感じて頂く環境を提供する

○各利用者の好みに応じた食レクを行い、外食等も行い喜んで頂けた。

利用者と共に手作りの飾り作りも行えた。

(2) 個人の生活スタイルを軸に安全・安心を目指し、少しでも楽しい生活が送れるよう支援する

○個人の生活スタイルを大切にしながら支援を行い安心して生活できる環境づくりに努めた。

また、行事や日常のかかわりを通して、笑顔で過ごされる場面も多く見られた。

(3) 新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症に対し、基本的な感染予防対策を徹底すると共に、感染拡大の状況に迅速な対応をとることで、利用者・職員に対する感染予防に努める

○手洗い・消毒・換気などの感染対策を継続して行い、利用者・職員の感染予防に努めた。体調確認や情報共有、今後も継続して感染対策を行っていく。

(4) 年齢や基礎疾患を配慮し、利用者の健康管理を行う

○毎日の体調確認や服薬管理、水分摂取の声かけを行った。体調の変化がみられた際には御家族・関係機関への連絡を行い、安心して生活できるよう健康管理に努めた。

グループホーム行事報告

月	花みずき 1 号館
4	ドライブ（桜並木）
5	避難訓練、ドライブ（豊前おこしかけ）
6	菖蒲観賞
7	七夕
8	ドライブ、花火
9	ドライブ（彼岸花）
10	錦陵の苑祭り、コスモス観賞
11	ドライブ（紅葉狩り）、避難訓練
12	クリスマス会 ドライブ（イルミネーション観賞）
1	初詣、新春カラオケ大会
2	節分（豆まき）、ドライブ（観梅）
3	ドライブ（河津桜）

相談部門

（１）利用者のニーズに応じたケアプランを作成することにより、QOLの向上に努めます

○入所や在宅の利用者に対し、必要なサービスの聞き取りを行い、本人が必要とする支援が行えるよう計画を作成しました。

（２）利用者の相談に応じ、市町村や障害福祉サービス事業者等との連絡調整を行います

○今年度は京都郡自立支援協議会幹事長として、幹事会の進行や調整役を務め、行政や他の事業所等との情報交換や意見交換を積極的に行いました。

（３）地域の障害者やその家族等からの福祉に関する相談に応じ、必要な情報提供や助言を行います

○行政からの依頼等で、地域で困っている障害者やその家族の相談に応じ、福祉サービスの説明及びサービス紹介を行い、問題解決できるよう努めました。

令和 7 年度 収益事業事業報告 太陽光発電売電事業

太陽光発電売電事業については、売電収入 2,307 千円（前年度比 68 千円増）です。

令和 7 年度 高齢者施設事業報告 有料老人ホーム、通所、訪問

1. 経営の安定

（１）入所利用者確保の為の活動

○令和 7 年度の平均入居者は 15 名/22 名です。居宅支援事業所や各病院等に営業に行き、利用者確保に努めてまいりましたが、大幅な利用者増につなげる事が出来ず、令和 8 年 3 月 31 日をもって、有料老人ホーム・訪問介護事業所・通所介護事業所を閉鎖いたしました。

（２）法令、基準等の遵守

・業務継続計画（感染症、災害の発生時）に従い必要な措置を講じる

○年に一度の避難訓練や非常食の管理等を行い、災害等に備えて準備を行いました。

・高齢者虐待防止、身体拘束等の適正化

○定期的に研修を行い、虐待や身体拘束の防止に努めました。

◎通所介護事業

・利用者の特性に応じて意欲的に出来る季節ごとの作品作り

○利用者様の身体機能を考慮しつつ、皆で一つの作品を制作できるよう支援を行いました。四季を取り入れた作品作りを行いました。

・レクリエーション、行事、外出の充実

○季節ごとの行事や製作レク・食レクを実施し、利用者同士のコミュニケーションの場を多く出来るよう努めました。

・機能維持のための生活方法、機能訓練等の工夫

○得手不得手を把握し、個々にあった脳トレーニングを実施する事で認知機能及び手指機能を維持し、毎日の体操や嚥下体操への参加を通して身体機能の維持を図るように努めました。

◎訪問介護事業

・個々のニーズに応じた訪問介護の提供

○各事業所と情報交換をし、連携を図ることで支援内容を見直し、状態変化に応じた最適なサービスを提供することが出来ました。

・介護保険制度に準じた支援の実施

○介護保険制度の変更に準じてサービスを提供することが出来ました。

・インターネット研修、勉強会で質の向上を図る

○個々の課題などに沿った研修を行い、スキルアップにつなげる事が出来ました。

2. 利用者のQOLの維持（幸福や満足度を与えられる支援）

（１）利用者のニーズに応じたサービスの提供

（２）居住空間としてふさわしい、清潔で住みやすい環境の提供

（３）要望、苦情への迅速で誠意ある対応、接遇

（４）高齢者個々に合わせた食事サービスの演出

（５）変化の早期発見に努め、即応した看護の提供

（６）感染症対策の実施

○以上 6 項目について、各セクションと連携を図りながら、個々の A D L、ニーズに合わせたサービスを提供し Q O L 向上に取り組みました。

コロナウイルス 5 類移行後、少しずつ外出行事を増やし、外出が難しい方にも楽しんで頂けるような苑内活動を企画してまいりました。

高齢者施設行事報告

月	行 事	作品作り（壁飾りリリース）
4	観桜会（花見御膳）、花見ドライブ	さくら
5	端午の節句、ドライブ（ぼたん、ツツジ）	鯉のぼり
6	食レク（パンケーキ）、茶話会（ゼリー）、菖蒲苑	アサガオ
7	七夕飾り、かき氷、健康診断	似顔絵（朝顔）
8	スイカ割り、茶話会（水ようかん）、ドライブ	花 火
9	敬老会（百寿祝い御膳）、食レク（サンドウィッチ）	コスモス
10	苑祭り、バーベキュー、ドライブ	顔はめパズル
11	縁日（ケーキ等）、避難訓練	サンタクロース
12	クリスマス会、年忘れ会、餅つき、鳥居作り	干支（午）
1	正月（おせち）、鏡開き、カラオケ大会	節分（鬼）
2	節分、バレンタイン、ドライブ（綱敷天満宮）	おひなさま
3	ひな祭り、ドライブ（桜の花見学）	手形

随時：誕生会、懐石料理（2 回/週）

令和 7 年度 法人の決算状況

貸借対照表 (単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	145,067,317	流動負債	100,646,058
固定資産	425,111,926	固定負債	36,242,000
純資産の部			
		基本金	109,037,225
		国庫補助金等特別積立金	48,034,724
		次期繰越活動増減差額	276,219,236
資産の部合計	570,179,243	負債及び純資産の部合計	570,179,243

事業活動計算書

科目	当年度決算
サービス活動収益計(1)	347,231,681
サービス活動費用計(2)	382,831,879
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-35,600,198
サービス活動外収益計(4)	5,935,569
サービス活動外費用計(5)	1,880,352
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	4,055,217
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-31,544,981
特別収益計(8)	550,000
特別費用計(9)	4,275,684
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-3,725,684
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-35,270,665
前期末繰越活動増減差額(12)	291,489,901
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	256,219,236
その他の積立金取崩額(14)	20,000,000
その他の積立金積立額(15)	0
次期繰越活動増減差額(16)=(13)+(14)-(15)	276,219,236

資金収支計算書

科目	予算	決算
事業活動収入計(1)	359,835,000	353,167,250
事業活動支出計(2)	366,281,494	357,212,935
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-6,446,494	-4,045,685
施設整備等収入計(4)		900,000
施設整備等支出計(5)	26,354,000	25,759,440
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-26,354,000	-24,859,440
その他の活動収入計(7)	1,363,000	22,026,567
その他の活動支出計(8)	1,814,000	2,575,399
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-451,000	19,451,168
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	-33,251,494	-9,453,957
前期末支払資金残高(11)	0	83,513,216
当期末支払資金残高(10)+(11)	-33,251,494	74,059,259



お知らせ

車椅子用の体重計での測定が難しい方や、職員の身体的介護負担の軽減の為、車椅子ストレッチャー型体重計を『公益財団法人 出光美術館』様からの助成金を頂き導入しました。



入所施設

くまさん家のはちみつ

外出では、くまさん家のはちみつを訪れました。店先の雰囲気やまわりの景色を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごしました。冷たいおやつを手にすると、自然と表情もやわらぎました。外の空気にふれながら、気分転換にもつながるひとときとなりました。



野菜植え

きゅうりの苗など

施設では、きゅうりの苗などの野菜植えを行いました。土にふれながら、一つひとつ丁寧に苗を植えていきました。植えたあとは、水やりもして育っていく様子を楽しみにしています。季節を感じながら、皆さまで協力して取り組むことができました。



駐車場でコーヒー

駐車場では、皆さまでコーヒーを楽しむ時間を過ごしました。香りのよいコーヒーを囲みながら、会話も自然とはずみました。落ち着いた空間の中で、笑顔の見える和やかなひとときとなりました。これからも、ほっとできる時間を大切にしていきます。



入所施設

外出 平成筑豊鉄道



平成筑豊鉄道への外出では、利用者様が列車への乗車や車窓の景色を楽しまれました。職員が付き添いながら移動を行い、車内では笑顔やピースサインも見られ、和やかなひとときを過ごしました。



施設長あいさつ

このたび、身体障害者支援施設錦陵の苑の施設長を拝命いたしました、長部順でございます。

入職以来 20 年間、利用者の皆さま、そしてご家族の皆さまに支えられながら歩んでまいりました。改めて深く感謝申し上げます。

これまで培ってきた経験を活かし、「安心して過ごせる場所」「その人らしさを大切にできる施設」をさらに発展させていく所存です。

職員一同と力を合わせ、利用者の皆さまの生活がより豊かになるよう努めてまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

衛生委員会からのお知らせ

7月に入り、気温と湿度がともに高まる季節を迎えました。暑さによる熱中症や脱水に加え、食材が傷みやすくなることで食中毒も起こりやすく、心身ともに体調を崩しやすい時期です。気温に体が慣れるまでの時期は特に疲れがたまりやすく、こまめな休息と水分補給を意識して過ごしたい季節です。

施設では、室温の管理やこまめな水分提供、調理・食品の取り扱いや手洗いといった衛生面の対応に、季節に応じて努めています。利用者様が安心して夏を過ごせるよう、日々の体調管理に気を配ってまいります。

暑さの厳しい時期となりますが、ご家族様もどうぞご自愛ください。職員一同、利用者様が心地よく夏を過ごせるよう努めてまいります。